

弘前「いきいき健診」スタート

市民1100人が健康調査

2年目を迎えた、弘前大学と弘前市が65〜80歳の市民を対象に全身の健康状態を10年間追跡調査する「いきいき健診」が10日、岩木文化センターあそべーるを会場にスタートした。認知機能をはじめ、血液検査や身体機能などを調査し、予防法確立や市民の健康づくりに役立てる。



認知機能をはじめ体のさまざまな健康状態を調査するいきいき健診

民の健康調査を行ってきた実績を持つ弘前となり、認知症の危険

因子や予防方法を探るため全国の1万人を対象に行う大規模調査の一環。今年度は約1100人の市民が参加し、昨年分の約1400人とともに隔年で

10年間、健診を受ける。初日は177人が受診し、全拠点で共通して調べる認知機能検査などに加え、弘前独自の

の骨密度や歯科口腔検査、体力など健康全般についての健診を受けた。健診は16日まで行われる。(西尾瑛)